

- ①構内で発生した労働災害を、年度、会社、場所、時間、事故の型、発生状況、災害部位、災害 程度を色別で表示、一覧にして、掲示板に貼る事で誰が見ても災害が多い事が一目で分かる様に災害の見える化を実施。(1989年(平成元年)～ )
- ②各職場、協力会社、関係会社に配布して、全員が共有意識を持つようにした。
- ③構内災害発生マップを作製、災害、ヒヤハットのリスクの程度により大きさ別、色別シールをマップに貼って、災害発生場所の見える化により各職場に注意喚起を実施。

